

経済学部をご卒業される皆さんへ

経済学部長 蓬田 守弘

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本来であれば、学科別集会で皆さんにお会いし祝辞を述べるところですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため、このような形でお祝いの言葉をお伝えします。米国の大学では学位授与式のことを“Commencement”と言います。“Commencement”には同時に「開始、はじまり」という意味があります。つまり、大学卒業とはまさに人生における次のステップの「はじまり」ということです。

本日の“Commencement”を境に、人生の新たなステージに立つ皆さんは、今どのような希望や目標を持っておられますか。自分のやりたいこと、なりたい自分など、様々な思いを心に秘めていることでしょう。ただ、これから皆さんが歩まれる人生においては、よい時だけでなく、わるい時もあるでしょう。自分自身が思うように行かないときは、歩むべき道を見失ってしまうものです。そのような時、今日皆さんが心に描いている希望や目標を思い出してください。そして、すぐには上手く行かなくても、そこに近づけるような道を進んで欲しいと思います。

今回の新型コロナウイルスは、世界に甚大な影響を及ぼしています。経済的な損害も計り知れませんが、なによりも感染によって人間の尊い命が失われることは悲しいことです。皆さんも健康にはくれぐれも留意してください。そして希望を胸にそれぞれの進路へ羽ばたいて行かれることを心より願っています。

また、上智のキャンパスか世界のどこかでお会いできることを楽しみにしています。

経済学科長 近藤 広紀

経済学科を卒業される皆さん、本日は卒業おめでとうございます。

これから皆さんは社会の一員となるわけですが、皆が互いに支え合って成り立っているこの社会の、これからの在り方について考えることが、物事が急速に展開している昨今、特に重要となってきます。多くの情報が氾濫していて、その中で人々は、周囲の大多数の意見になんとか押し流されてしまう傾向が強まっています。その結果、社会が思わぬ方向に導かれることも有り得て、その場合皆さんはその共犯者となってしまいます。

肝心なことは、「自分を信じて自分の頭で考えること」。しかし、やっかいなことに、勉強して考えれば考えるほど、自分に自信がなくなるもの。でも、そうして自信がなくなった時こそ、自分に自信を持っていい時だと、自信を持って言いたいと思います。これからももっと勉強して、自分の頭で考えるようになってほしいと思います。

経営学科長 杉谷陽子

ご卒業おめでとうございます。経営学科を代表して、心よりお祝いを申し上げます。

上智大学に在籍されていた期間、皆様は様々なことを経験されたと思います。自分自身の大きな成長につながった貴重な学びもあれば、大学生活が思い描いていたように進まず、悔しい思いをされたこともあったかもしれません。しかし、充実した日々はもちろんのこと、思い悩んだ経験も、すべてが今後の人生の大きな糧になると信じています。

今、世界は様々な課題に直面しています。それらを解決していくには、原因を追究する思考力と分析能力、そして、既存の考え方にとらわれない柔軟な発想が求められます。上智大学での学びを生かし、皆様が今後、社会において輝かしい活躍をされることを願っています。

2020年3月24日